

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構

## 第 2 期中期目標期間 事業報告書

自 平成 21 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 10 月 31 日

学校法人沖縄科学技術大学院大学学園

# 目 次

## 独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構の概要

I. 基本情報	1
1. 法人の概要	1
2. 事業所等の住所	2
3. 資本金の状況	3
4. 役員の状況	3
5. 常勤職員の状況	5

## 第2期中期目標期間の実績報告書

はじめに	6
I. 中期目標の期間	9
II. 国民に対して提供するサービスその他の 業務の質の向上に関する事項	9
1. 科学技術に関する研究開発	9
2. 成果の普及及びその活用の促進	13
3. 研究者の養成及びその資質の向上、研究者 の交流	15
4. 大学院大学の設置の準備	17
5. 効果的な広報・情報の発信等	18
III. 業務の効率化に関する事項	19
1. 管理運営業務の効率化	19
2. 予算の適正かつ効率的な執行	20
3. 入札・契約の適正化及び調達事務の効率化	21
4. 給与水準の適正化	22
5. 保有資産の有効活用	23
6. 効率的な事務事業の実施を確保するため の取組の強化	24
IV. 財務内容の改善に関する事項	25
V. その他業務運営に関する重要事項	26

1. 施設・整備に関する事項	.....	26
2. 人事に関する事項	.....	28
3. 事務局体制の整備	.....	30
4. 社会的責任を果たすための取組	.....	31

別紙

中期目標別紙：沖縄科学技術大学院大学の開学 時の姿	.....	35
別紙1：中期計画予算及び決算額	.....	39
別紙2：収支計画及び決算額	.....	40
別紙3：資金計画及び決算額	.....	41

# 独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構の概要

## I. 基本情報

### 1. 法人の概要

#### ① 法人の目的

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構は、大学院大学の設置の準備と併せて、沖縄を拠点とする国際的に卓越した科学技術に関する研究及び開発等を推進することにより、沖縄における科学技術に関する研究開発の基盤の整備を図り、もって沖縄の自立的発展及び世界の科学技術の発展に寄与することを目的としています。

(独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構法（平成 17 年法律第 26 号）第 3 条)

#### ② 業務内容

機構は、独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構法第 3 条の目的を達成するため以下の業務を行います。

- ①国際的に卓越した科学技術に関する研究開発を行うこと。
- ②①に掲げる業務に係る成果を普及し、及びその活用を促進すること。
- ③科学技術に関する研究集会の開催その他の研究者の交流を促進するための業務を行うこと。
- ④機構の施設及び設備を科学技術に関する研究開発を行う者の供用に供すること。
- ⑤国際的に卓越した科学技術に関する研究者を養成し、及びその資質の向上を図ること。
- ⑥大学院大学の設置の準備を行うこと。
- ⑦以上の業務に附帯する業務を行うこと。

(独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構法第 16 条)

#### ③ 沿革

平成 17 年 9 月 1 日、新設の独立行政法人として、独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構が発足。

#### ④ 設立の根拠となる法律名

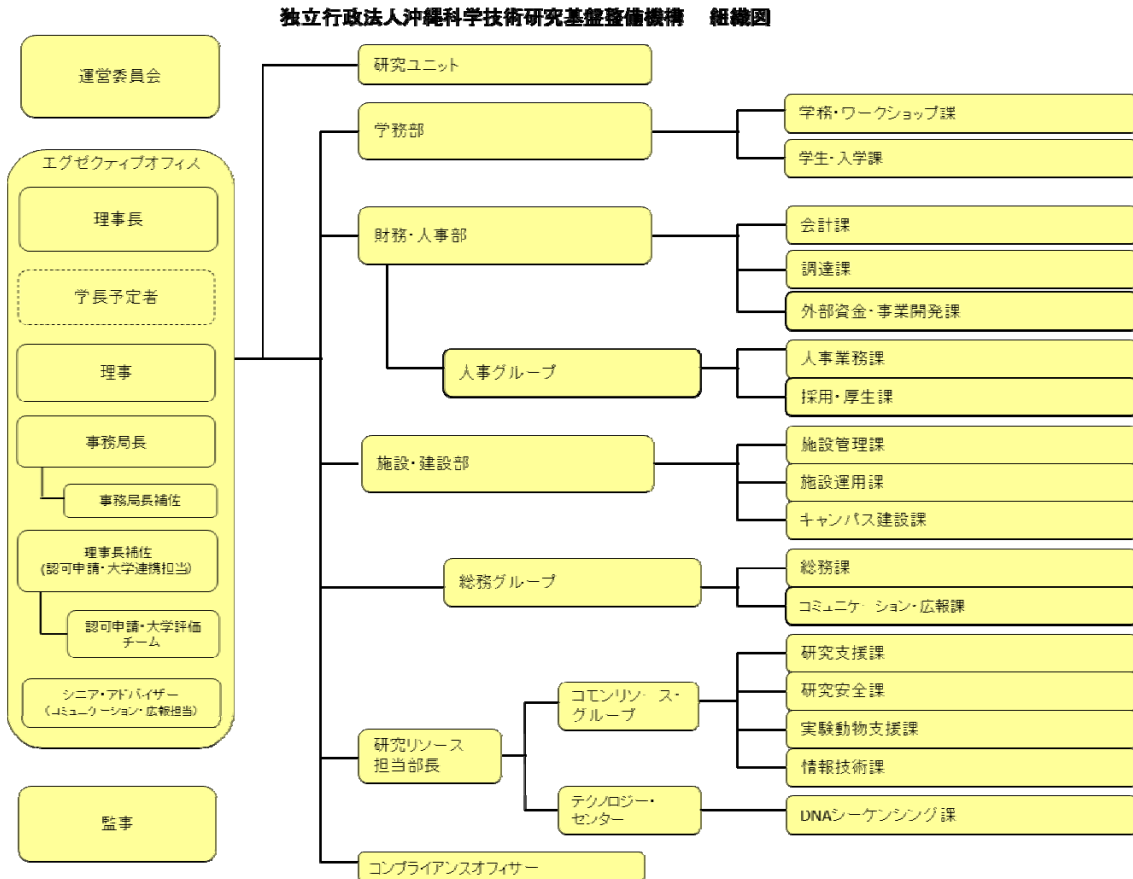
独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構法（平成 17 年 4 月 1 日法律第 26 号）

⑤ 主務大臣

内閣総理大臣 (内閣府沖縄振興局総務課事業振興室)  
 文部科学大臣 (文部科学省高等教育局大学振興課 ~ 大学院大学の設置の準備及びその附帯業務に関する事項)

⑥ 組織図

平成 23 年 10 月 31 日現在



2. 事業所等の住所

本部

〒904-0412 沖縄県国頭郡恩納村字谷茶 1919-1

シーサイドハウス

〒904-0411 沖縄県国頭郡恩納村字恩納 7542

研究事業所

〒904-2234 沖縄県うるま市州崎 12-22